



校長室だより

令和5年8月25日 始業式

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

百聞・百見・百考・百行・・・



35日間という長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。コロナ感染症が5類に引き下げられた夏休みでしたので、遠くに出かけた人も多かったと思います。ただ、夏休みに入ってすぐに小学生の水難事故のニュースが流れたり、台風により大きな被害を受けた地域や交通機関がストップしたりするなど、心配なこともたくさんありました。まずは、今日ここに皆さんが無事に集まれたことが本当に良かったと思います。

さて、皆さんは「**百聞は一見に如かず**」という言葉聞いたことはありますか。これは故事成語という昔から伝わる中国の言葉で、100回聞くよりも1回でも見ることの方が大切である、という意味です。「百聞は一見に如かず」これは有名な言葉ですが、実はこの言葉には続きがあります。

「**百見は一考に如かず**」ただ100回見るだけでなく考えることが大切である。

「**百考は一行に如かず**」100回考えるより1回でも行動することが大切である。

「**百行は一効(果)に如かず**」ただ行動するだけでなく成果をあげることが大切である。この後にもまだ「一幸」「一皇」と「こう」の字が2つほど続きますが、ここまでのところで、聞くことよりも見ること、見ることよりも考えること、考えることよりも行動すること、そして成果があることが大切である、という意味になります。これを逆から考えれば、「こうなりたい」「こういう成果を出したい」と願うのであれば、よく聞いて、実際に見て、自分の頭で考えて、行動してみることで、よりよい成果が得られるのだと教えてくれていると考えられます。

79日間の2学期には、学習はもちろん、体育の日や芸術祭、50周年記念行事など多くのことが盛り込まれています。その一つ一つにおいて、まずはよく聞き、よく見て、自分の考えをもち、そしてやってみる・挑戦してみることで、自分の目標を達成し、大きく成長することができます。七小の4つの教育目標の中にも「自ら考え」や「行動する」という言葉が含まれています。この目標のように、「百考」し「百行」する2学期にしていきましょう。

ちなみに残り2つは

「**百効は一幸に如かず**」100の成果が上がっても幸せであることが大切である。

「**百幸は一皇に如かず**」自分だけの幸せではなく皆が幸せであることが大切である。という意味です。

皆の幸せのためにはまず自分が幸せになる。そのために1つずつ成果を上げていく。成果を上げるためによく考え行動する。考えるために、よく聞き、よく見る。

そんな壮大な成語だったのですね。世の中をよくするためにも、まずは何でも「聞く」ことが大切ですね。